

## 御所見地区（ふじみ号）の今後の取組み資料

### 目 次

1 御所見地区（ふじみ号）の経緯	・ ・ ・ ・ 1
2 御所見地区の現状	・ ・ ・ ・ 3
3 御所見地区の交通の現状	・ ・ ・ ・ 6
4 ふじみ号の利用状況	・ ・ ・ 1 1
5 ふじみ号に関するアンケート調査	・ ・ ・ 1 5
6 ふじみ号再編に向けた交通課題	・ ・ ・ 2 8
7 ふじみ号再編に向けた今後の展開について	・ ・ ・ 2 8

藤沢市

# 1 御所見地区（ふじみ号）の経緯

## （1）御所見地区バス路線の現状

平成17年に湘南台から慶応大学を運行する連節バスの導入とあわせて御所見地区南部の交通不便地域の解消を目的に導入されたフィーダー（支線）バスのふじみ号（慶応大学～瀬郷循環）は、1便あたり5人程度の利用者で赤字が深刻なことから、バス事業者側からの廃止を含めた再編が申し入れられており、地域のアンケートを実施するなど再編に向けた地元意向の整理を行っています。

また、御所見地区内の長17系統(長後駅西口～宮原南)のうち用田辻～宮原南は、平成13年度の道路運送法の改正を受けて、退出申出が行われ、神奈川県生活交通確保対策地域協議会（以下「地域協議会」という。）を経て、市がバス転回場を確保することで路線確保が行われた路線です。このバス転回場については、平成25年3月に市道遠藤宮原線の整備に伴い、使用が中止したことから、長17系統の路線維持方針についても地域の代表者およびバス事業者側と協議を行っているところであります。

このため、これらの2路線の確保維持方針について、藤沢市地域公共交通会議の場において協議を行うものです。

## （2）御所見地区（ふじみ号）の路線開設に至る経緯

年 月	内 容
2000年(平成12年)5月	道路運送法の改正（公布）
2000年(平成12年)12月	“庁内研究会（メンバー：企画、財政、福祉推進、建設調整、都市計画、教育調整、行政総務）発足。研究のまとめ（案）にて、「長後～用田～小谷」は維持が必要で、そのために、折り返し点の整備の方向で検討するとしている。”
2002年(平成14年)2月	改正道路運送法の施行
2003年(平成15年)2月	当該路線の退出申し出について、神奈中より了解を求められる。 神奈中が、地域協議会へバス路線退出等の意向を申し出る
2003年(平成15年)5月	「新たな公共交通システム導入検討委員会」設立
2003年(平成15年)7月	地域協議会において、路線確保策を実施（市がバス転回場を整備）することで協議が調う。
2003年(平成15年)10月	7月に協議したバス転回場の位置を変更について、協議が調う。
2004年(平成16年)1月	宮原南以南の路線廃止。（長17系統運行開始）
2005年(平成17年)3月	ツインライナー、ふじみ号導入

(3) 御所見地区のバス路線について  
現在運行している路線概要を以下のとおりです。

表－1 御所見地区のバス路線状況

系統名	起点	終点	経由	距離	時間	本数	摘要
ふ01	慶応大学	慶応大学	獺郷東町	6.8km	19分	8本	ふじみ号 (7台-)
ふ02	慶応大学	慶応大学	宮原(右)	7.7km	24分	6本	〃
ふ03	慶応大学	慶応大学	宮原(左)	7.6km	24分	17本	〃
長17	長後駅	宮原南	用田辻	7.3km	21分	13本	15本 幹線

(4) 御所見地区(ふじみ号)再編に向けた取組み  
御所見地区(ふじみ号)再編に向けて、地域と協働による取組みは以下のとおりです。

表－2 御所見地区(ふじみ号)再編に向けた取組み状況

年月日 (場所)	関係者(出席者)	概要
2012.4~ (――)	<ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川中央交通</li> <li>都市計画課</li> </ul>	H13に地域協議会で路線を変更した「長17系統」の転回場の確保および赤字が続くH17に導入の「ふじみ号」に関する協議を開始した。
2012.7 (御所見センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり推進協議会</li> <li>御所見市民センター</li> <li>都市計画課</li> </ul>	地元住民の代表者との協議を実施し、赤字路線への対応について協議、住民組織との協議を進めることで合意。
2012.8.22 (御所見センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり推進協議会</li> <li>御所見市民センター</li> <li>都市計画課</li> </ul>	地元住民への御所見地区のバス路線の抱える問題について周知し、このままでは、路線の減便や、廃止もあることを周知した。近隣施設との協議を進めることで合意した。
2012.10.27 (御所見センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり推進協議会</li> <li>御所見市民センター</li> <li>都市計画課</li> </ul>	御所見文化祭で、「ふじみ号」に関するPRを実施した。(車両展示、乗車体験、ぬり絵大会(後日車両掲示))
2012.12~ (――)	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり推進協議会</li> <li>自治会連合会</li> <li>御所見市民センター</li> <li>都市計画課</li> </ul>	ふじみ号の路線維持に関するアンケートを実施、現在集計作業をすすめている。
2013.2.22	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり推進協議会</li> <li>自治会連合会</li> <li>御所見市民センター</li> <li>都市計画課</li> </ul>	アンケート結果について、地元説明、存続について廃止や、どちらでもよいという意見が多く、地元の利用が進まないと公共交通が衰退する可能性について説明した。

## 2 御所見地区の現状

### (1) 御所見地区の人口推移（※2010年の人口は推計値）

#### ○御所見地区の人口推移

西暦（和暦）	1995年	2005年	2010年
	（平成7年）	（平成17年）	（平成22年）
人口（人）	17,392	17,506	18,029
世帯数	5,421	6,404	7,112
1世帯当り人員	3.21人	2.73人	2.53人
高齢化率	10.5%	17.9%	22.7%

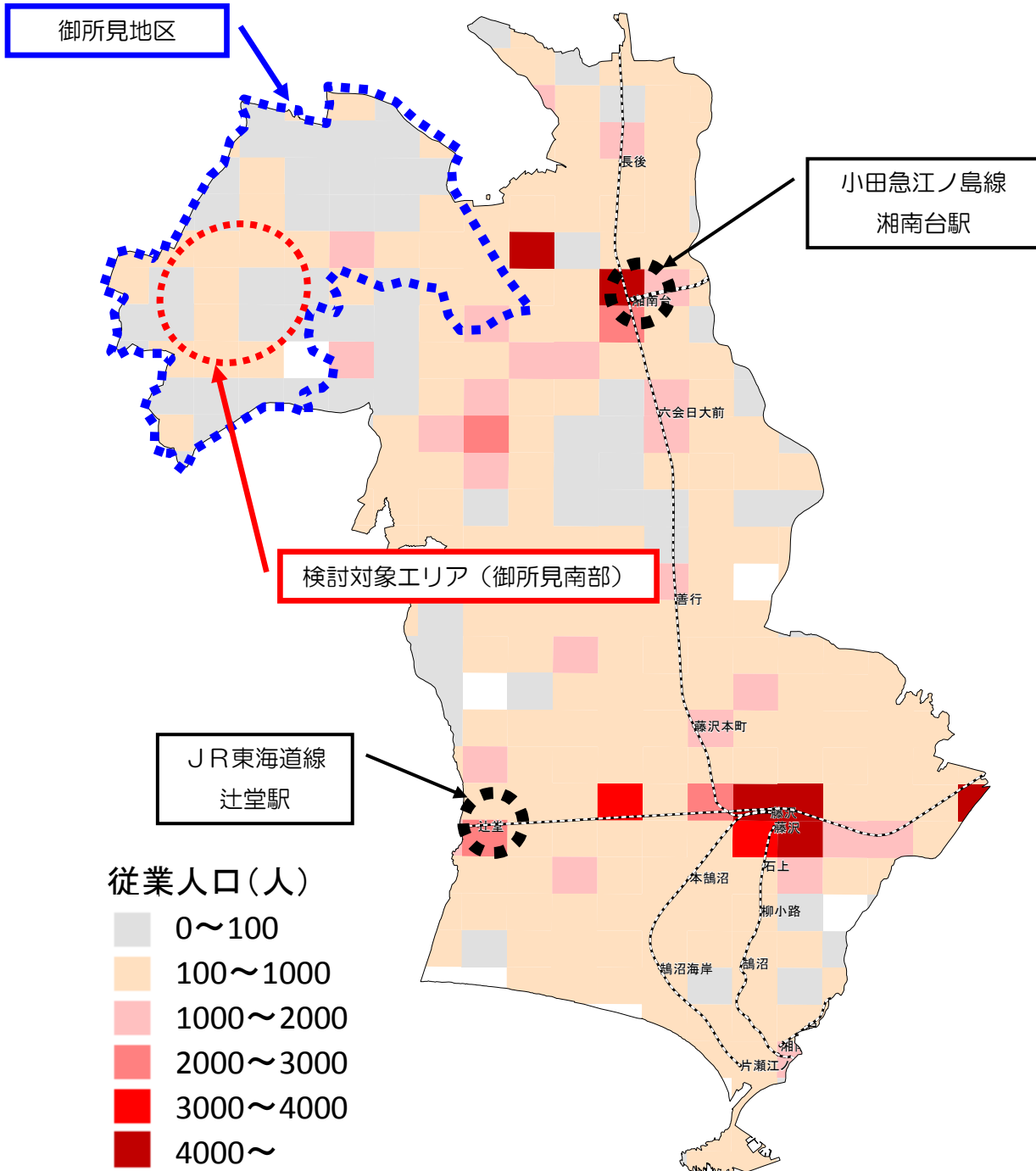
#### ○参考：藤沢市の人口推移

西暦（和暦）	1995年	2005年	2010
	（平成7年）	（平成17年）	（平成22年）
人口（人）	328,387	396,014	408,161
世帯数	137,993	161,232	172,477
1世帯当り人員	2.67人	2.46人	2.37人
高齢化率	11.0%	16.5%	19.9%

(2) 御所見地区の従業人口の現況

御所見地区、地区中心部に工業地域が一部ありますが、市街化調整区域であることから、それ以外は、住宅・事業所等の少なく、農地や集落地が主体の田園地帯が形成されています。

このため、従業人口も少ない地域となっています。

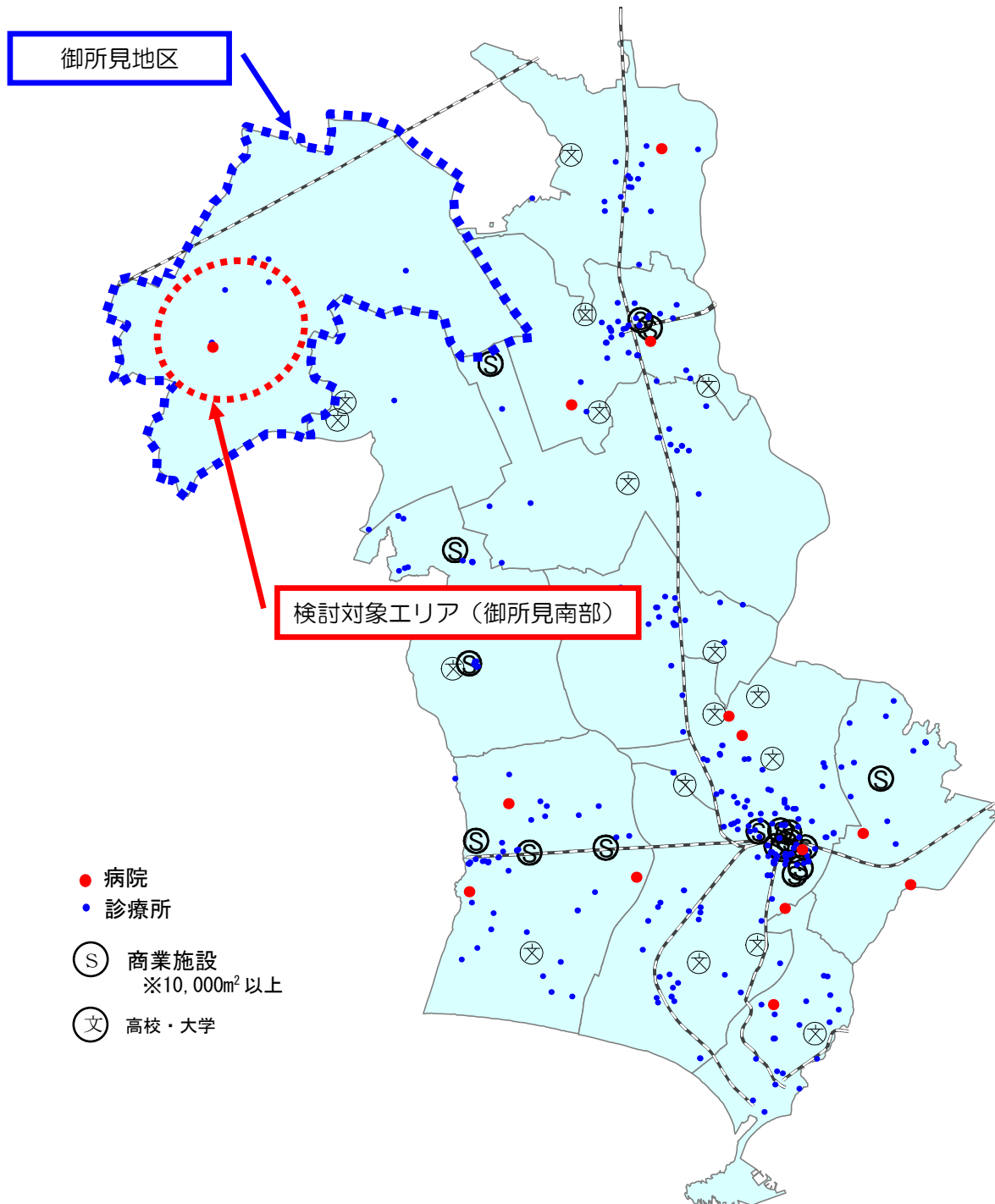


図－1 従業人口の状況

【平成18年事業所・企業統計調査】

### (3) 御所見地区の病院、商業施設、学校の立地状況

御所見地区の病院、商業施設、学校の立地状況を見ると、藤沢御所見病院が立地していますが、大規模な商業施設、学校は立地していません



図一2 病院、商業施設、学校の立地状況

### 3 御所見地区の交通の現状

#### (1) 自動車利用状況

御所見地区は、JR東海道線辻堂駅から約11 km、小田急江ノ島線湘南台駅から約5 kmに位置しています。地区内には、長後駅、湘南台駅など鉄道駅へのバス交通が充実している地域も一部ありますが、鉄道駅がないことから、本市の中でも自動車利用率が高い地区となっています。

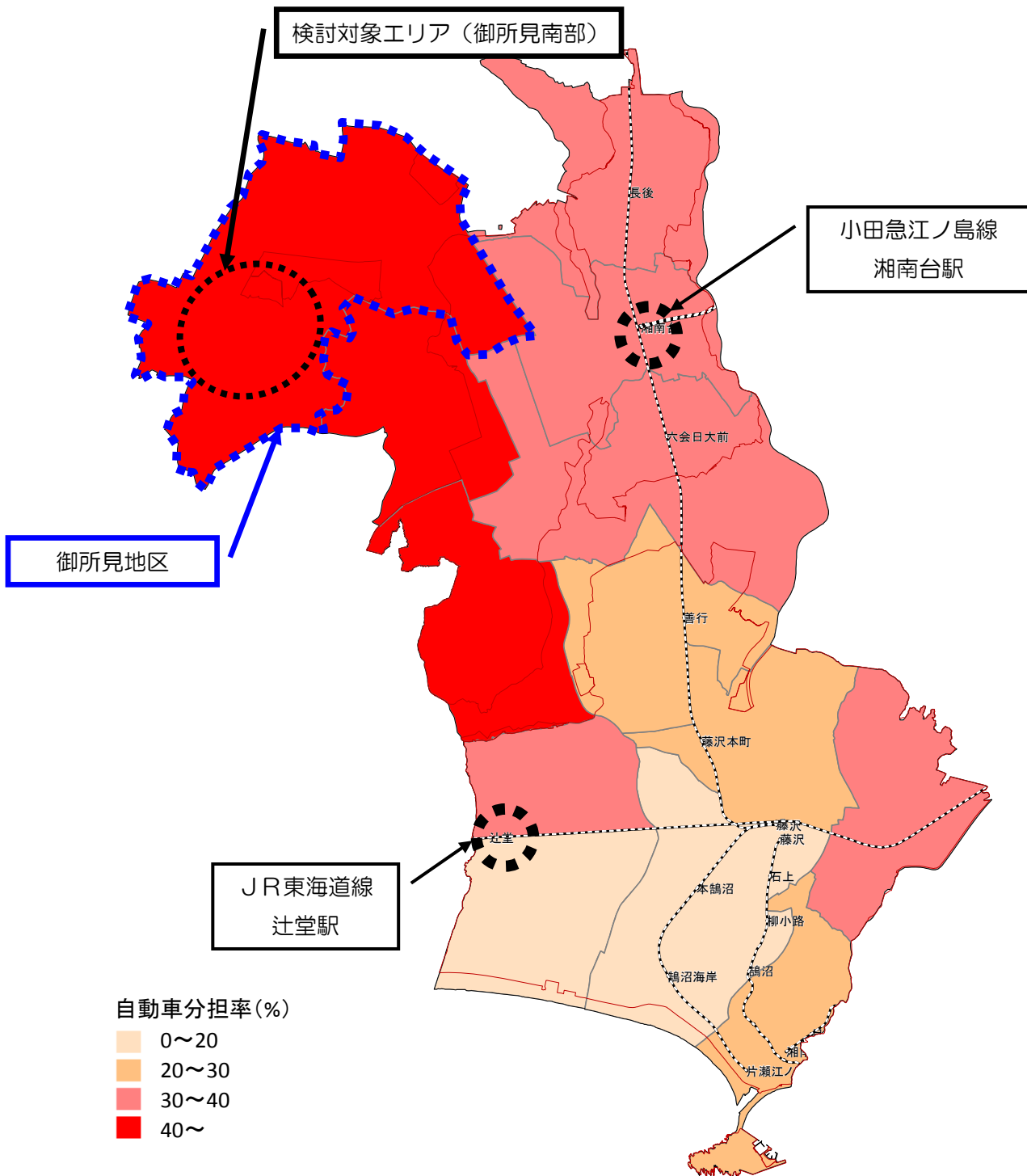


図-3 自動車利用率の状況

【平成20年東京都市圏パーソントリップ調査】

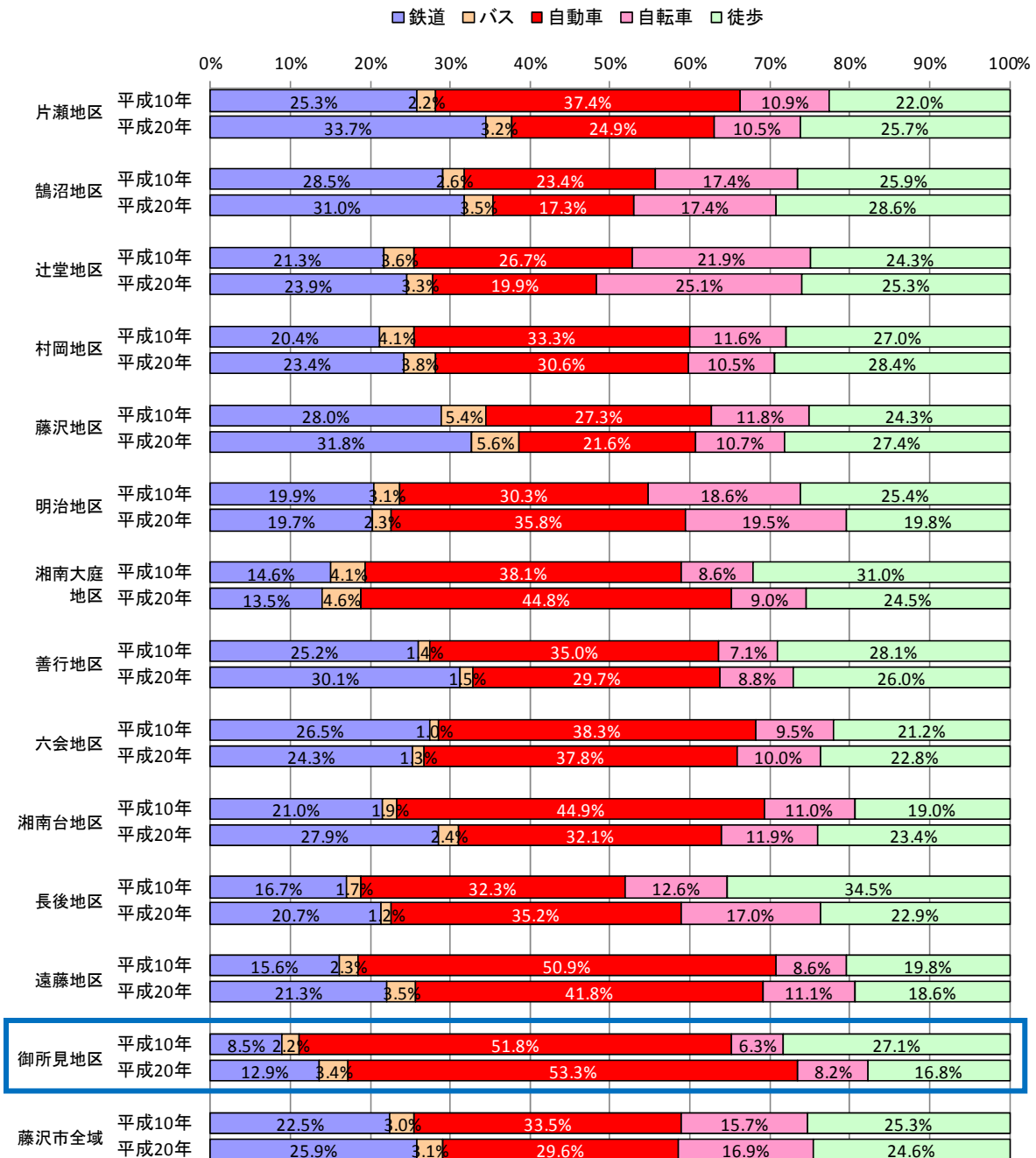
## (2) 交通手段構成

### ①交通手段構成（代表交通手段）

御所見地区の交通手段構成を見ると、自動車分担率が53.3%と、本市全体に比べ約20%以上高く、バス分担率は3.4%と本市全体と同じよう分担率になっています。

その一方で、鉄道分担率が12.9%、二輪車分担率が8.2%と本市全体に比べ、低くなっています。

平成10年と平成20年との変化を見ると、自動車分担率が約2%程度、鉄道分担率が約4%程度、バス分担率が約1.2%程度、自転車分担率が約2%程度、増加する一方で、徒歩分担率が約10%程度、低下しています。



図一4 御所見地区の交通手段構成（代表交通手段）

【平成20年東京都市圏パーソントリップ調査】

※地域不明・手段不明トリップを除く。



②鉄道駅への交通手段構成（鉄道駅端末交通手段構成）

鉄道駅のない御所見地区の主な最寄り駅としては、小田急江ノ島線の長後駅、湘南台駅となっています。両駅とも鉄道駅までの交通手段としては、市内にある鉄道駅と比べてもバス利用が大きな割合を占めています。次いで、自動車利用も高くなっています。

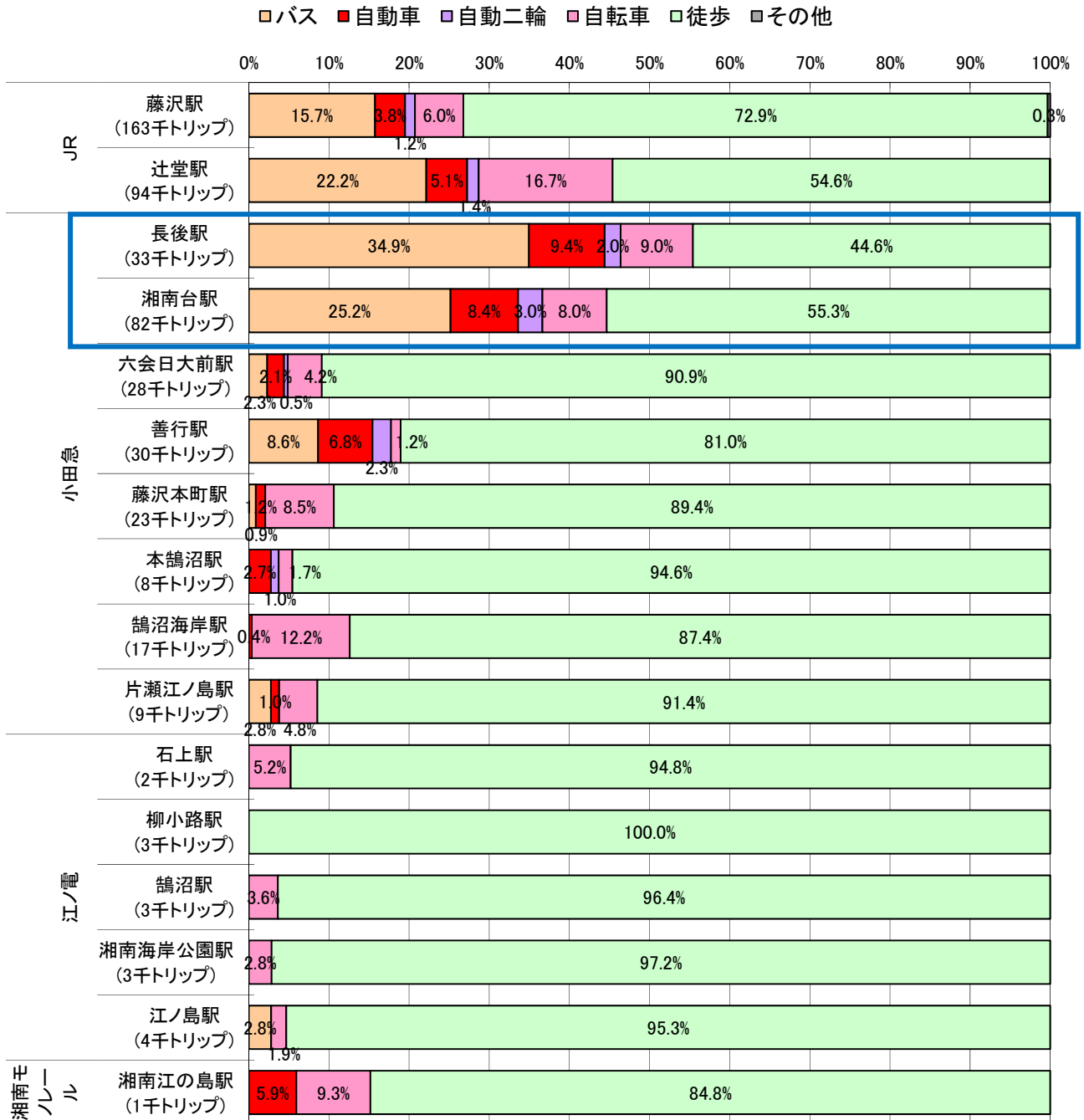
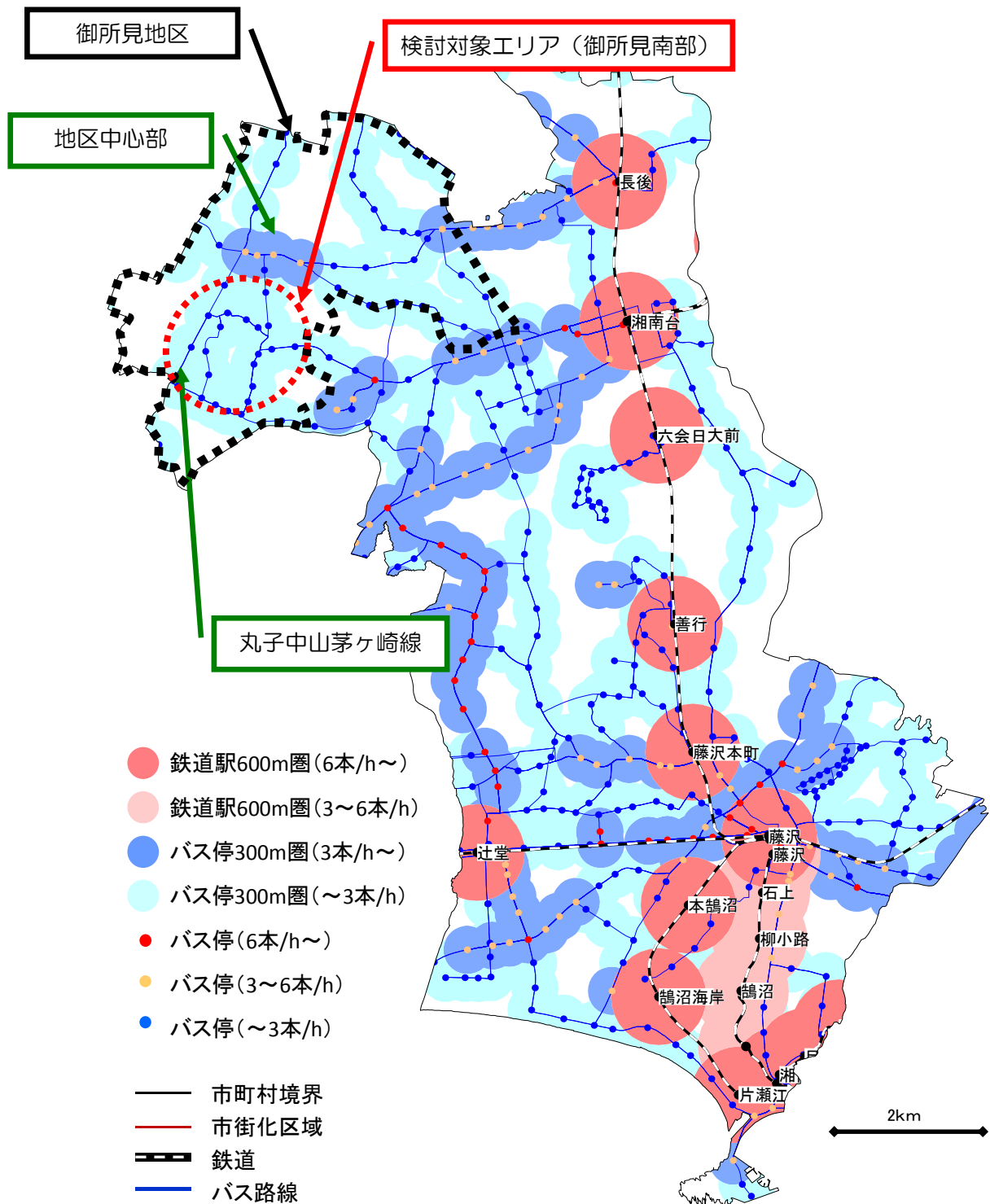


図-5 鉄道駅への交通手段構成（駅別）

【平成20年東京都圏パーソントリップ調査】

### (3) 公共交通のサービス圏域状況

御所見地区の公共交通のサービス圏域を見ると、地区中心部はバス路線が充実しているが、地区中心部以外の地域では、バス交通のサービス圏域から外れている地域や、バス交通の本数が少ない地域が広がっています。検討対象エリア（御所見南部）を見ると、ふじみ号と丸子中山茅ヶ崎線を通る長後17系統の路線があることから、バス交通の本数は少ないものの、ほぼバス交通のサービス圏域内となっています。

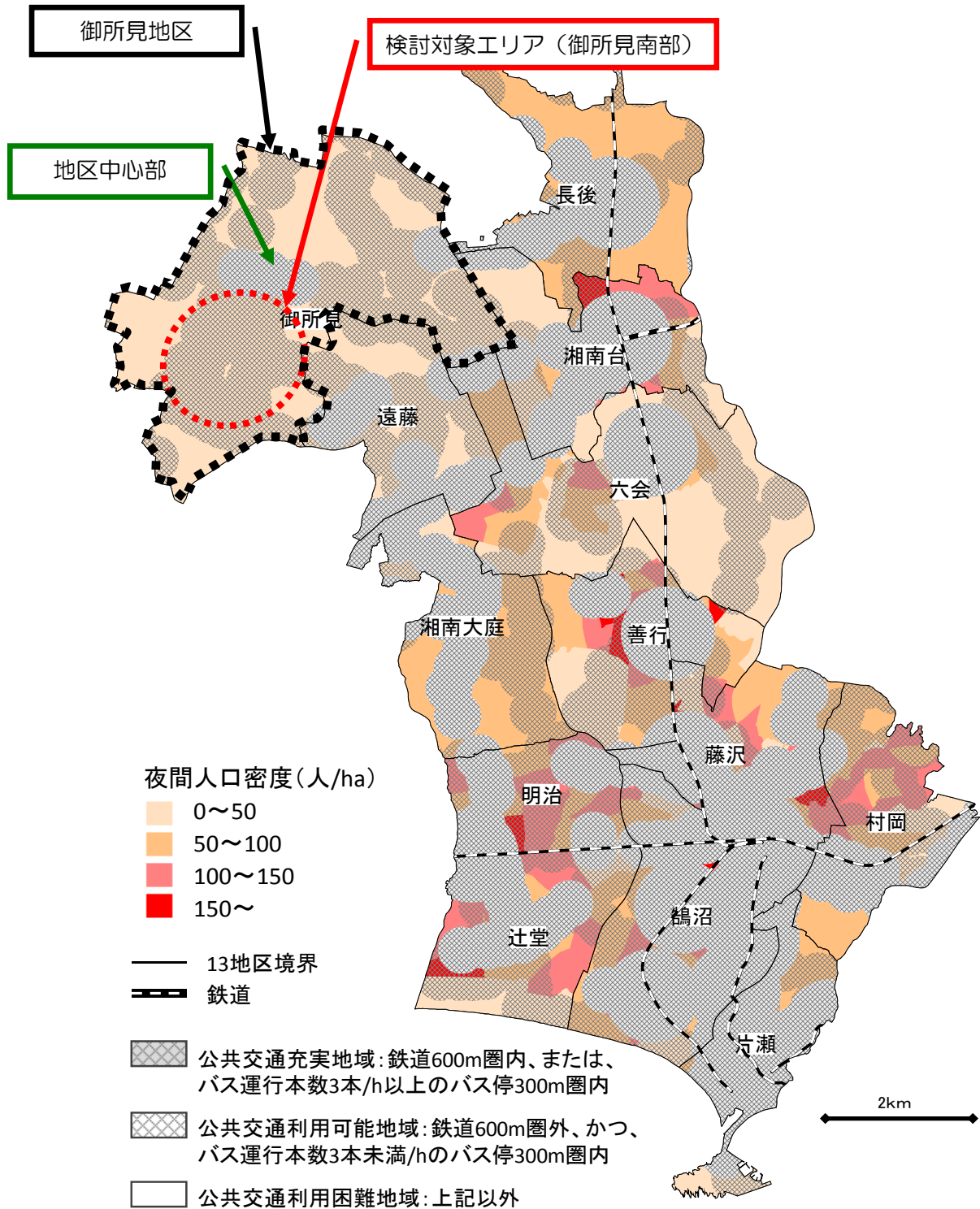


図－6 公共交通のサービス圏域状況

(4) 公共交通のサービス圏域と夜間人口の分布状況

御所見地区周辺の公共交通のサービス圏域と夜間人口の分布状況を見ると、地区中心部は公共交通充実地域となっていますが、地区全体の人口密度が低いこともあり、公共交通のサービス圏域から外れている公共交通利用困難地域が地区に散在しています。

検討対エリア（御所見南部）は人口密度が低い地域に位置しています。エリア内は公共交通利用可能地域が広がっていますが、南側の一部に、公共交通困難地域があります。



図一七 公共交通のサービス圏域と夜間人口の分布状況